

TABLE FOR TWO かわら版

第1号 2008年7月発行



ご挨拶

日頃よりTABLE FOR TWOへご賛同・ご支援いただきまして、誠にありがとうございます。
皆様のランチからいただいた20円は海を越え、アフリカの子供たちの学校給食になっています。この度、支援先の1つ、ウガンダのルヒイラ村の小学校を訪ねてまいりました。

(TABLE FOR TWO事務局長・小暮 真久)

これまでに集まったご寄付

185,049食

約850人の子供の1年分の学校給食になります。

ウガンダ視察報告 ~ 皆様からいただいた20円の行先 ~



ニヤカムリ小学校の子供たち

【ウガンダ共和国 基本情報】
面積: 24.1万km² (ほぼ本州大)
人口: 2,990万人
首都: カンバラ
民族: バガンダ族、ランゴ族、アチョリ族



【今回の訪問先】
ルヒイラ村の4つの小学校:
ニヤカムリ、オムウィチャンバ、ルワベイメラ、シナイ

給食を食べる子供たちと事務局長



ボナバナ校長先生

? 給食の効果は?

ニヤカムリ小学校のボナバナ校長先生によると「学校給食が始まってから、咳をする子供が少なくなりました。子供たちの基礎体力は確実に上がっています。また、給食のない学校では午後の授業はありませんが、私たちの学校では給食のおかげで午後も授業が続けられるので、学力も上がっています。」とのことです。



おみやげのサッカーボールで元気に遊ぶ子供たち

? 20円でどんな給食が食べられるの?

現在は、「ポーショ」(トウモロコシの粉をお湯で練って作ったお餅のようなもの)に、豆や野菜の入ったスープをかけて食べています。

食材の確保については、地元の農家に種と肥料を提供して収穫物の一部を給食の材料として提供してもらう「ベイバック」という仕組みを導入していますが、食糧や燃料価格の高騰のせいで農家から学校にベイバックされる材料が減ってしまったそうです。また調理用の資源(水、薪)の不足や、栄養バランスの観点からも、この食事を維持することが難しくなっています。

そのため低価格・省資源で製造でき、従来の給食よりも栄養バランスのとれたビスケットとの併用を試験導入しているところです。



給食をつくるご両親たち 食べる前に手を洗います



お行儀よく1列に並びます



食事中



食べ終わったら、みんなで皿洗い

現在の支援先は東アフリカのウガンダ、ルワンダ、マラウイの3か国。今後、支援地域を拡大していく予定です。

? TABLE FOR TWOとは?

TABLE FOR TWOヘルシーランチを選ぶと、参加者自身のメタボリック予防ができると同時に、開発途上国の子供に給食をプレゼントできる、という一石二鳥のプログラム。日本から始まった運動です。

昼食代に含まれている寄付金の20円は、途上国の学校給食1食分の金額です。つまり、ヘルシーメニューを1食とるごとに、飢餓に苦しむ子供に給食1食を贈ることになります。目の前のランチは1食でも、世界の誰かと2人で食事をしている。時間と空間を越えて、先進国の1人と途上国の1人が同じ食卓を囲んでいる。そんなイメージから「TABLE FOR TWO(2人の食卓)」という名前が生まれました。